

ウォーミングアップ

資料集別冊「白地図作業帳」pp.6-7

大地形と資源

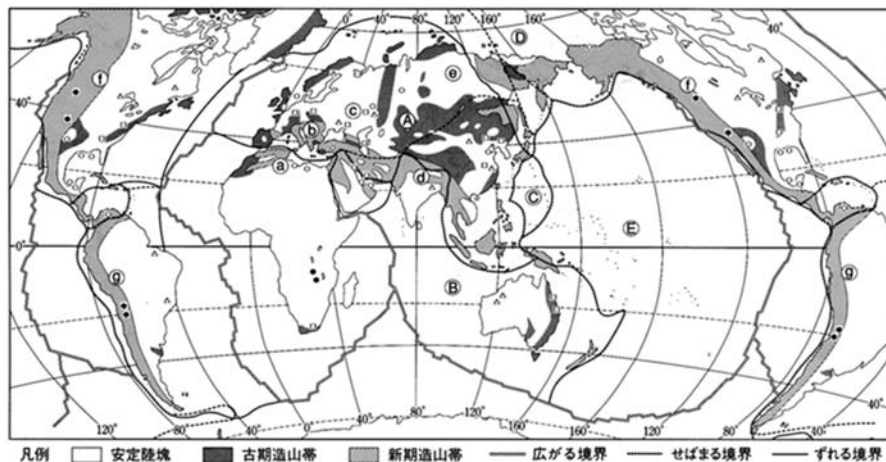


図1. 大地形と資源分布

(1) 図1中の①～⑧の自然地形名、⑨～⑮のプレート名を記入せよ(地図帳 pp.173-174)。

① 山脈 ② 山脈 ③ 平原
④ 山脈 ⑤ 高原 ⑥ 山脈
⑦ 山脈
⑧ プレート ⑨ プレート
⑩ プレート ⑪ プレート ⑫ プレート

(2) 図1中の①～⑧の自然地形を、Ⅰ. 安定陸塊、Ⅱ. 古期造山帯、Ⅲ. 新期造山帯に分類せよ。

Ⅰ. 安定陸塊：

Ⅱ. 古期造山帯：

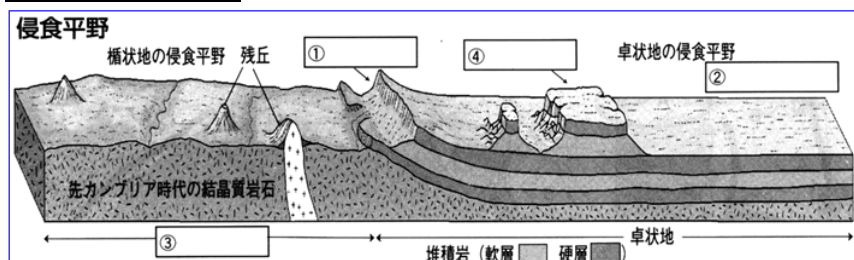
Ⅲ. 新期造山帯：

(3) 図1中の以下の記号は資源の分布を示している。その資源名を答えよ。

●： △： □： ○：

(4) 同じ種類のプレート境界を同じ色ペンでなぞりなさい。配色は自由。

安定陸塊上の大平野



上の図の空欄①～④に当てはまる語句を記入せよ。

① ②
③ ④ ()

外的営力がつくる小地形

内的営力によって起伏の大きくなった地形は、外的営力によって平坦化する。

河川などの堆積作用により形成される平野を、侵食平野に対して堆積平野と呼ぶ。

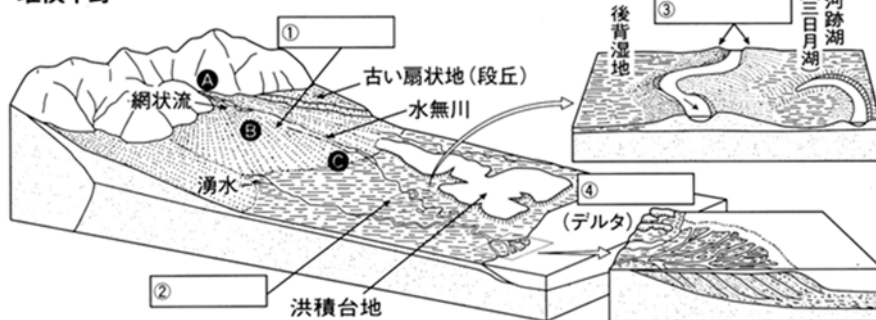
※堆積平野上の地形

- ・ **① 沖積平野** : 完新世(沖積世)に形成された平野。
- ・ **② 台地(洪積台地)** : 更新世(洪積世)に形成された堆積平野が、隆起してできた台地。日本では約12万年以降にできたものを指す場合が多い。

① 沖積平野で見られる地形

河川は急流となる山地では侵食による **V字谷** を形成する。運搬された土砂は河川沿いに堆積すると **谷底(こくてい/たにぞこ)平野** をつくる。

堆積平野



① : 谷の出口に粒の粗い砂礫が堆積してできる、谷口を頂点とする半円錐状の堆積地形。以下の三部に分けられる。

④・**⑤**・**⑥** → 次頁で詳細解説

② : 洪水の際、流路一帯が浸水することにより形成された微地形。以下の地形を含む。

③ : 河道付近に砂が堆積してできる微高地。

⑤ 後背湿地 : **③** の背後にできる水はけの悪い土地。**⑥ 蛇行・三日月湖(河跡湖)** が見られることもある。

④ () : 河口付近で河川の流力が減速し、運搬力が失われるため砂や泥が堆積してできる地形。**肥沃**。以下の三種の形状。

デルタ=Δ



ア: **⑦ 扇状三角州** : ex. ナイル川、太田川など

イ: **⑧ 鳥足状三角州** : ex. **⑩ 川** など

ウ: **⑨ () 三角状三角州** : ex. テヴェレ川など

三角州は、沿岸流の強さ、運搬される土砂の量などの関係で形が決まる。土砂量が [] いと、イの形となる。